



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月10日

上場会社名 北雄ラッキー株式会社 上場取引所 東・札
 コード番号 2747 URL <https://www.hokuyu-lucky.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）桐生 宇優
 問合せ先責任者（役職名）取締役常務執行役員 管理本部長兼管理部長（氏名）高橋 徹 (TEL) 011-558-7000
 半期報告書提出予定日 2025年10月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	18,483	1.9	57	92.4	47	—	22	15.9
2025年2月期中間期	18,140	△4.3	29	△89.7	0	△99.9	19	△90.2

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	17.67	—
2025年2月期中間期	15.24	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期中間期	17,645	5,732	32.5	4,535.72
2025年2月期	18,175	5,715	31.4	4,522.15

(参考) 自己資本 2026年2月期中間期 5,732百万円 2025年2月期 5,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2026年2月期	—	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,900	2.7	427	75.7	400	95.1	250	75.5	197.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期中間期	1,264,640株	2025年2月期	1,264,640株
② 期末自己株式数	2026年2月期中間期	725株	2025年2月期	725株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年2月期中間期	1,263,915株	2025年2月期中間期	1,263,915株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(中間会計期間)	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間（2025年3月1日～2025年8月31日）におけるわが国経済は、雇用及び所得環境の改善、インバウンド消費の増加などを背景に、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、不安定な国際情勢及び物価高騰の長期化などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

スーパーマーケット業界におきましては、業種、業態を超えた競争の激化に加え、人件費をはじめとした各種経費の増加、物価上昇によりお客様の価格志向や消費動向にも変化が見られるなど、企業としての対応力を問われる厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社は2024年2月期から2026年2月期までの中期3ヵ年経営計画を踏まえ、以下の項目に重点を置いて営業活動を行いました。

- ①差別化戦略としての6MD商品の強化（6MD商品政策の推進）
- ②来店頻度向上を目的とする販売力の強化
- ③マーケティング力強化によるファミリー顧客層の拡大
- ④ラッキー生鮮・デリカセンターの稼働に伴う商品供給の拡大と体制の確立
- ⑤ローコスト運営の徹底と業務効率の改善による生産性の向上
- ⑥財務体質の強化

①の商品政策面では、6つの商品政策の柱（6MD）のうち、特に「テイスティラッキー」（高品質商品）、「ナチュラルラッキー」（オーガニック食材など）の二つに重点を置いております。これにより、お客様には品質の差を訴求し、競合他社との優位性を築いてまいります。

②③につきましては、従来のチラシ販促に加え、店頭におけるメニュー提案動画の配信やSNSを使った情報発信を組み合わせることによって、ストアロイヤリティの向上を目指します。お客様の利便性向上の一つの目安である、キャッシュレス決済比率は2025年8月末で65.4%となり、前年同月末の64.1%から1.3%改善いたしました。ファミリー顧客層の深耕につきましては、フードコーディネーター部を中心とする新商品開発や、順次実施している店舗改装において、手に取りやすく、買い回りしやすい店舗づくりを行うなどの点に注力しております。また、前事業年度より、お客様のお支払い時の利便性を高めること、若年層及びファミリー顧客層の新規獲得などを目的として、dポイントを導入しております。

④のラッキー生鮮・デリカセンターは2021年の稼働開始以来順次稼働率を上げ、商品製造を機械化集中する事でコスト削減を実現しております。

⑤につきましては、業務推進室によるオペレーション効率の分析を通じて、商品の自動発注をはじめとした様々な業務の自動化及び労働時間の最適化に取り組んでおります。

⑥につきましては、前記の中期経営計画を実行することで収益力強化と自己資本比率向上等、財務体質の改善に努めました。

当中間会計期間の売上高は184億83百万円と前期比101.9%、3億43百万円の増加となりました。売上総利益は50億25百万円、16百万円の増加となりました。売上総利益率は27.2%と、前期比0.4%減少いたしました。

販売費及び一般管理費は、雑給が前期比37百万円増加、減価償却費が同28百万円増加、水道光熱費が同18百万円増加、配送費が同13百万円増加いたしました。一方で、賞与引当金繰入額が同57百万円減少、給料及び手当が同35百万円減少、退職給付費用が同16百万円減少となりました。合計では、50億93百万円となり、前期比99.8%となり10百万円減少しております。

これらの結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高は184億83百万円（前期比101.9%）、経常利益は47百万円（前期比11,959.6%）、中間純利益は22百万円（前期比115.9%）となりました。

当中間会計期間における店舗の状況は、新設・閉鎖店舗及び改装店舗は無く、2025年8月31日現在の店舗数は、33店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産)

当中間会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して5億30百万円減少し176億45百万円でありま

す。

その主な要因は、売掛金が2億8百万円増加、建設仮勘定が1億52百万円増加、投資有価証券が73百万円増加したものの、現金及び預金が7億10百万円減少、建物(純額)が1億26百万円減少、商品及び製品が71百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当中間会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して5億47百万円減少し119億12百万円であります。

その主な要因は、買掛金が9億20百万円増加、預り金が1億79百万円増加したものの、短期借入金が17億円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して17百万円増加し57億32百万円であります。

その主な要因は、株主配当金により63百万円減少したものの中間純利益22百万円の計上及びその他有価証券評価差額金が58百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、9億27百万円(前事業年度の期末残高は5億7百万円)となりました。

当中間会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、15億87百万円(前中間会計期間は12億31百万円の資金獲得)となりました。

これは主に、売上債権の増加が2億8百万円であった一方、減価償却費3億円、仕入債務の増加9億20百万円、預り金の増加が1億79百万円、未払消費税等の増加が1億48百万円あったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、9億66百万円(前中間会計期間は1億47百万円の資金使用)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が1億74百万円、差入保証金の差入による支出が12百万円であった一方、定期預金の払戻による収入が11億30百万円、差入保証金の回収による収入が23百万円であったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、21億34百万円(前中間会計期間は9億38百万円の資金使用)となりました。

これは主に、短期借入金の純減少額が17億円、長期借入金の返済による支出が2億29百万円、リース債務の返済による支出が1億42百万円であったことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の業績予想につきましては、2025年4月11日の「2025年2月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、適切に開示してまいります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当中間会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,637,920	927,342
売掛金	1,044,285	1,252,447
商品及び製品	1,770,992	1,699,899
原材料及び貯蔵品	67,269	73,509
前払費用	87,596	104,459
未収入金	453,826	417,543
未収消費税等	18,676	—
未収還付法人税等	25,580	—
その他	5,153	45,546
貸倒引当金	△267	△267
流動資産合計	5,111,033	4,520,480
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,077,411	12,095,645
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,926,355	△8,070,816
建物(純額)	4,151,056	4,024,829
構築物	812,482	813,922
減価償却累計額及び減損損失累計額	△663,975	△673,456
構築物(純額)	148,506	140,466
機械及び装置	3,897	3,897
減価償却累計額	△1,454	△1,737
機械及び装置(純額)	2,443	2,160
車両運搬具	7,522	7,522
減価償却累計額	△7,522	△7,522
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	447,154	453,016
減価償却累計額及び減損損失累計額	△422,368	△428,618
工具、器具及び備品(純額)	24,785	24,397
土地	6,066,247	6,066,247
リース資産	1,396,488	1,507,701
減価償却累計額及び減損損失累計額	△559,802	△668,199
リース資産(純額)	836,685	839,502
建設仮勘定	9,185	161,755
有形固定資産合計	11,238,909	11,259,358
無形固定資産		
ソフトウェア	39,232	31,413
のれん	14,755	13,084
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	72,216	62,727
投資その他の資産		
投資有価証券	280,686	354,472
出資金	479	479
長期前払費用	41,023	39,558
繰延税金資産	349,696	333,357
長期預金	100,000	100,000
差入保証金	981,505	974,652
投資その他の資産合計	1,753,391	1,802,520
固定資産合計	13,064,518	13,124,606
資産合計	18,175,551	17,645,087

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当中間会計期間 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,327,665	3,247,845
短期借入金	1,950,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	469,835	482,892
リース債務	292,540	311,511
未払金	398,535	430,788
未払費用	287,865	356,523
未払法人税等	31,648	47,392
未払消費税等	—	130,318
前受金	15,822	16,335
預り金	634,238	813,513
賞与引当金	81,352	113,238
流動負債合計	6,489,503	6,200,358
固定負債		
長期借入金	4,090,181	3,847,989
リース債務	711,133	681,708
退職給付引当金	821,186	823,360
長期預り保証金	244,694	240,233
資産除去債務	81,591	97,022
長期末払金	21,650	21,650
固定負債合計	5,970,436	5,711,964
負債合計	12,459,940	11,912,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	2,157,903	2,117,035
利益剰余金合計	4,622,903	4,582,035
自己株式	△2,054	△2,054
株主資本合計	5,613,872	5,573,004
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	101,738	159,760
評価・換算差額等合計	101,738	159,760
純資産合計	5,715,610	5,732,764
負債純資産合計	18,175,551	17,645,087

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	18,140,071	18,483,395
売上原価	13,130,815	13,457,727
売上総利益	5,009,256	5,025,667
営業収入		
不動産賃貸収入	124,071	124,632
営業収入合計	124,071	124,632
営業総利益	5,133,327	5,150,300
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	150,635	154,622
配送費	417,755	431,105
販売手数料	73,616	79,931
給料及び手当	952,538	917,079
賞与引当金繰入額	170,323	113,238
退職給付費用	48,874	32,615
雑給	1,162,988	1,200,946
水道光熱費	492,897	511,454
減価償却費	271,682	300,176
地代家賃	328,966	330,064
その他	1,033,402	1,022,036
販売費及び一般管理費合計	5,103,682	5,093,271
営業利益	29,645	57,029
営業外収益		
受取利息	2,025	2,199
受取配当金	8,044	10,233
受取事務手数料	1,320	2,695
雑収入	18,566	21,408
営業外収益合計	29,956	36,537
営業外費用		
支払利息	17,509	32,274
雑損失	1,179	13,520
シンジケートローン手数料	40,516	378
営業外費用合計	59,205	46,174
経常利益	396	47,391
特別利益		
受取補償金	61,200	—
特別利益合計	61,200	—
特別損失		
減損損失	8,476	1,453
固定資産除売却損	13,522	7,663
その他	1,491	—
特別損失合計	23,489	9,116
税引前中間純利益	38,106	38,274
法人税、住民税及び事業税	22,310	27,373
法人税等調整額	△3,463	△11,426
法人税等合計	18,847	15,947
中間純利益	19,259	22,327

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	38,106	38,274
減価償却費	271,682	300,176
長期前払費用償却額	3,296	1,465
減損損失	8,476	1,453
賞与引当金の増減額(△は減少)	57,949	31,885
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,972	2,173
受取利息及び受取配当金	△10,070	△12,432
その他の営業外損益(△は益)	21,810	—
その他の特別損益(△は益)	△59,709	—
支払利息	17,509	32,274
固定資産除売却損益(△は益)	13,522	7,663
売上債権の増減額(△は増加)	△176,054	△208,162
棚卸資産の増減額(△は増加)	△64,839	64,854
仕入債務の増減額(△は減少)	902,248	920,180
預り金の増減額(△は減少)	76,731	179,275
未払消費税等の増減額(△は減少)	65,587	148,995
預り保証金の増減額(△は減少)	△8,636	△4,460
その他	144,256	90,785
小計	1,295,895	1,594,402
利息及び配当金の受取額	8,317	11,185
その他の収入	81,086	—
利息の支払額	△16,979	△30,955
その他の支出	△56,512	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△80,158	13,233
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,231,648	1,587,865
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	1,130,000
有形固定資産の取得による支出	△387,568	△174,880
無形固定資産の取得による支出	△27,177	△1,555
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	12,000
差入保証金の差入による支出	△25,405	△12,746
差入保証金の回収による収入	394,468	23,113
事業譲受による支出	△92,530	—
その他	△9,495	△9,529
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147,707	966,401

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,300,000	△1,700,000
長期借入れによる収入	4,950,000	—
長期借入金の返済による支出	△3,401,183	△229,135
リース債務の返済による支出	△123,850	△142,537
配当金の支払額	△63,193	△63,171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△938,227	△2,134,844
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	145,713	419,422
現金及び現金同等物の期首残高	567,826	507,920
現金及び現金同等物の中間期末残高	713,539	927,342

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)及び当中間会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

当社は、生鮮食料品を中心に一般食料品及びファミリー衣料品を販売の主体とするスーパーマーケット事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。